

平成20年度 社会体育功労者等表彰

社会体育功労者

- 【内は推薦母体】戸島 征子さん、可愛地区コミュニティ協議会、相良 静子さん、可愛地区体育協会、橋口 敏治さん、【西方地区体育協会】笹野 正男さん、【東郷地域体育協会】大重 俊明さん、【祁答院地域体育協会】大村 大稔さん、【里地域体育協会】瀬戸口 英美さん、【陸上競技協会】米次 清利さん、【バレーボール協会】鬼塚 雅行さん、【弓道連盟】領家 紀昭さん、【柔道会】

- 赤崎 弘昭さん、【ソフトボール協会】西 弘記さん、田中 保さん、【軟式野球連盟】田原 一幸さん、【バスケットボール協会】松元 いつ子さん、【ゲートボール協会】【レクリエーション協会】

社会体育優良団体

- 【内は推薦母体】永利地区コミュニティ協議会、永利地区体育協会、永利地区コミュニティ協議会、新勝会(勝目町)、【ソフトボール協会】

優秀スポーツチーム

- 【内は主な成績】榎脇・川薩清修館高等学校、男子ホッケー部、【平成20年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会 第3位】

預金保険制度について ご存知ですか

「預金保険制度」とは、万が一、金融機関(ゆうちょ銀行を含む)が破たんした場合に、預金者の保護や資金決済の履行の確保を図ることによって、信用秩序を維持することを目的としています。

この制度により、当座預金や利息の付かない普通預金などは全額保護されます。定期預金や利息付きの普通預金などは、金融機関ごとに預金者1人当たり、元本1000万円までと、その利息などが保護されます。それを超える分は、破たんした金融機関の財産の状況に応じて支払われます。

問合先

- 預金保険機構 03(3212)6029、各財務局などまたは金融機関の窓口

肝炎ウイルス (B型・C型)検査の実施

ウイルス肝炎は、感染しても症状が現れにくいいため、気付かないうちに感染し、病気が進行することがあります。そのため、検査を受け、早期に発見・治療することが重要です。この機会

保健センターで実施する保健事業

Table with columns: 地域, 月日, 時間, 内容. Rows include health checkups and handouts in various areas like 川内, 榎脇, 入来, 東郷, 祁答院.

出張健康相談

Table with columns: 地域, 月日, 時間, 場所. Rows include health consultations in 川内, 坊ノ下, 平佐, 川原田.

- 問合先: 本庁市民健康課(すこやかふれあいプラザ内) 0996(22)8811, 榎脇支所市民福祉課健康福祉G 0996(37)3111, 入来支所市民福祉課健康福祉G 0996(44)3111, 東郷支所市民福祉課健康福祉G 0996(42)1111, 祁答院支所市民福祉課健康福祉G 0996(55)1111

ふるさと満喫 東郷地域南瀬地区編



南瀬地区は本市の東部に位置する、鮎漁でにぎわう川内川が流れる中山間地域で、国道267号と県道山田入来線の両線が交わり、市街地や榎脇・入来地域、さつまいもの広がる自然豊かな所にあります。また、昔からミカンの苗木の発祥地として知られ、地区コミュニティセンター広場には大きな増田柑橋翁の碑が建てられています。

豊かな心をはぐくみ、恵まれた自然に活力を与える知恵と行動で、「せらみくふるさと」の創造を図り、潤いあるふるさとの南瀬の活性化に取り組みたいと思います。

第34回

統を守りみんなでつくる元氣な南瀬を「テーマ」に、七つの専門部会で活動しています。中でも、平成3年に始まった花いっぱい運動は、地区民や子ども育成会、ボランティア約100人が一体となって取り組んでいます。春はポーチュラカ、秋はパンジーを500個のプランターに植えて、主要な道路や自治公民館に設置しています。また、平成11年からは国道沿いの休耕田にコスモスを植えて、近隣の方やドライバーなどの目を楽しませる景観づくりに努めています。世代を越えた活動にも心掛け、昔から伝わる郷土食の初午団子を継承し、毎年県下一周駅伝の接待では子どもたちの作った団子が、大勢の人に喜ばれています。ソバ打ちや竹炭作りなども伝え、後生に夢を託したいと思えます。

イベント・伝統芸能

地区では8月の夏まつり、11月のむらづくり振興大会、12月の冬空を飾るイルミネーション冬まつりなどのイベントを開催しています。中でも、むらづくり振興大会は農水産物の品評会、フリーマーケットや権現鍋(山芋汁)とおにぎりの無料サービス、ミカンのつかみ取り、賞品が100点近いお楽しみ抽選会など地区民が楽しみにしている一大イベントです。伝統芸能としては400年前から伝わる下方限太鼓踊(出陣)と上方限太鼓踊(凱旋)があり、敬老会やイベントの席で披露されています。しかし、どちらの踊りも、幼児から大人まで30人以上の踊り手が必要なため、少子高齢化の中、この伝統芸能をいかに引き継ぎ守っていくかが地区の課題になっています。伝統を守りながら地区民みんなで力を合わせて活気あるむらづくりにこれからも取り組んでいきます。



10月になると、みんなで植えたコスモスが田んぼ一面に咲き誇ります。



初午団子を、2月の県下一周駅伝中継地点でみんなに振る舞います。



下方限太鼓踊(アケスメロ)は、出陣の時の踊りです。



上方限太鼓踊(ズシキャンキャン)は、凱旋した時の踊りです。



ミカンの接ぎ木を伝え広め、栽培に取り組まれた増田勇之進の功績をたたえ建てられた「柑橋翁の碑」です。

問合先 南瀬地区コミュニティ協議会 所在地 〒895-1105 東郷町南瀬 2192-5 ☎0996(42)4155



地区のむらづくり達人 田中 重信さん



地区コミュニティ協議会 会長 新留 徳雄さん



南瀬の子どもたち 運動会で元気に踊る南瀬小学校の子どもたちです。これからの南瀬をよろしく願います。

平成3年から11年間、地区の公民館長をしていただき、現在ある、南瀬地区のむらづくりの基礎をつくっていただきました。

会長を引き受けて4年目、歴代の役員の方々の築かれた多くの実績を確実に守り、地区民の声を聞きながら発展させることに努力していきます。